



2021年3月12日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 三 浦 尚
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 取 締 役 浜 口 和 雄
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

2021年7月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異、通期業績予想の修正、営業外費用並びに特別利益発生に関するお知らせ、及び連結子会社の異動（持分譲渡）に係る連結決算上の特別利益計上のお知らせ（開示事項の経過報告）

2020年9月14日に公表した、2021年7月期（2020年8月1日～2021年7月31日）における第2四半期の連結業績予想数値と、本日公表の連結実績数値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2020年9月14日に公表した2021年7月期通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 第2四半期連結業績予想との差異について

2021年7月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異（2020年8月1日～2021年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	△25	△70	245	53.08
当期実績値(B)	3,793	45	△15	727	157.51
増減額(B-A)	493	70	55	482	
増減率(%)	14.9	—	—	196.7	
(ご参考)前期実績 (2020年7月期第2四半期)	3,921	73	46	180	39.19

差異の理由

当第2四半期連結累計期間は、次世代5G向を中心とした通信分野での需要拡大により売上高は前回発表予想を上回りました。

また、上記の売上高の増加により営業利益、経常利益は前回発表予想を上回りました。これに比べ、山王電子(無錫)有限公司の出資金売却に伴い関係会社出資金売却益753百万円を特別利益に計上したことにより、当期純利益が前回発表予想を大幅に上回りました。なお、2021年1月5日に開示いたしました「連結子会社の異動（持分譲渡）完了並びに特別利益発生に関するお知らせ（開

示事項の経過報告)」にてお知らせした金額との関連については、下記「4. 連結子会社の異動（持分譲渡）に係る連結決算上の特別利益計上のお知らせ（開示の経過報告）」をご参照ください。

2. 通期業績予想の修正について

2021年7月期通期業績予想の修正（2020年8月1日～2021年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,600	140	70	375	81.24
今回修正予想(B)	7,500	200	160	885	191.73
増減額(B-A)	900	60	90	510	
増減率(%)	13.6	42.9	128.6	136.0	
(ご参考)前期同期 (2020年7月期)	7,947	179	86	171	37.14

差異の理由

次世代 5G 向を中心とした通信分野での需要拡大は下半期においても継続する見込みであり、受注水準は当初の想定を上回る見通しであることから、売上高を前回発表予想から上方修正いたします。

また、上記売上高の増加に伴い営業利益、経常利益を前回発表予想から上方修正するとともに、当期純利益は、第2四半期に計上する関係会社出資金売却益影響も考慮し、前回発表予想から上方修正いたします。なお、2021年1月5日に開示いたしました「連結子会社の異動（持分譲渡）完了並びに特別利益発生に関するお知らせ（開示事項の経過報告）」にてお知らせした金額との関連については、下記「4. 連結子会社の異動（持分譲渡）に係る連結決算上の特別利益計上のお知らせ（開示の経過報告）」をご参照ください。

3. 営業外費用と特別利益の発生について

(営業外費用について)

当連結会計期間において、シンジケートローン組成に伴う支払手数料が発生したこと等により、支払手数料 53 百万円を営業外費用に計上いたしました。

(特別利益について)

当連結期間において、山王電子(無錫)有限公司への出資金を売却したことにより関係会社出資金売却益 753 百万円を特別利益に計上いたしました。

4. 連結子会社の異動（持分譲渡）に係る連結決算上の特別利益計上のお知らせ（開示の経過報告）

2021年1月5日付「連結子会社の異動（持分譲渡）完了並びに特別利益発生に関するお知らせ（開示事項の経過報告）」に記載のとおり、当初は特別利益の金額を約 350 百万円とし、為替換算調整勘定については包括利益にて計上を予定していましたが、今般連結決算作業に伴い精緻に検討した結果、連結子会社に係る為替換算調整勘定相当額についても特別利益として処理すべき事実が判明し、四半期包括利益の変動は軽微であるものの「関係会社出資金売却益」としての特別利益の金額が 753 百万円となりました。なお、業績予想に与える影響については上記「2. 通期業績予想の修正について」に記載の通りです。

以上